

に及びたるは全く國家の爲め社會の爲め悲しまざるを得ず。

今回郵船屬員の盟休に對し世上の批評を爲すものあらん。

或は震災直後人心未だ安定せざる時一國の海運政策の基幹たる交通機關を杜絶して貨客を停滯せしむるを難ずるものあらん或は又單に經濟的考察より論じてかの一重役の言に賛し單なる小使錢に類すべき航海手當半減に抗拒して社會を騒がすの罪を云ふものあらん。

吾人は敢てかゝる評論に對して辯明するものに非ざるも最後の手段たる盟休の大事を決行するに至りたる止むに止まれぬ郵船屬員の悲壯辛慘たる心事を社會公衆の面前に披瀝して吾人の今回の舉の謬れるや否やを其公正なる批判に訴へんことを。

吾人海員組合は他の勞働團體と異なり從來常に勞資兩者が對

等のレベルの上に立てる眞の理想的意味に於ける勞資協調の實を擧ぐる事に努力し機會ある毎に勞資の接近を圖り圓滿無碍の理解と同情が兩者の間に醗酵され從つてかの呪ふべき階級意識を除去し政治的運動と相俟つて諸種の經濟的鬭争の勃發思想惡化の傾向を未然に防ぐべく銳意努力しつゝありし際、偶然にも今回の大震災突發し幾十萬の生靈が其恐るべき災厄の淵に沈淪せるを見て奮然蹶起し精神的及物質的に組合の全精力を遭難海員家族救護の一事に傾到したる事は一般周知の事實にして其内容は機關雜誌其他の報告に詳述したるが如し。

しかも吾人は此救護事業は單に吾人船員が獨り奮闘すべきものに非ずして當然上下一致船主も船員も俱に協力して此前古未曾有の國難を救ひ同時にこれを機會に勞資階級の協力融和を希